



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第7回例会(9月1日)
平成29年9月7日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内

会 長 飯塚 肇

例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代)

会 幹 事 星 克彦

例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 報 伴 亨

http://www.morioka-rc.jp/

クラブ事務局 TEL 019(653)5682

FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 'ロータリー: 変化をもたらす'... イアン H.S. ライスリー
盛岡RC会長テーマ —もう一度、奉仕— 飯塚 肇



新入会員卓話

『もう一度、奉仕 日本生命を通じて私ができること』

日本生命保険(相) 盛岡支社長

千崎 和夫 君

日本生命の千崎と申します。常日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。また本日は、新入会員卓話の時間をいただき、たいへんありがとうございます。

私はこの4月に盛岡に転勤して参りました。初めての東北岩手・盛岡での勤務となります。札幌・東京武蔵野・そして盛岡と支社長は今年で6年目となりますが、営業部長時代を通じてもロータリークラブに参加させて頂くのは初めてです。

今回このような卓話の時間を頂戴し、盛岡ロータリークラブ飯塚会長の「もう一度、奉仕」というテーマで今、自分に何ができるのかということについて改めて考えるいい機会にいただきました。本当にありがとうございます。本日は現在勤務しております、日本生命という会社を通じて私ができることについて、諸先輩の前で大変緊張しておりますが、話をさせていただきます。よろしくをお願いします。

改めまして、まずは自己紹介からです。

私は昭和41年11月9日に大阪市城東区放出で千崎家の次男として生まれました。今年で51歳になります。大阪の大手前高校を卒業し、神戸大学経営学部に入り、卒業、平成2年に一番最初に内定をいただいた日本生命に入りました。当時はバブル絶頂期で我々世代は「バブラーズ」と呼ばれました。O型のさそり座、性格を自己分析すると、どちらかというところ「動いてから考えるタイプ」で楽観的です。また無類のプロレス好きで、この夏休みも両国国技館へ新日本プロレス「G1クラ

イマックス」を観戦してきました。プロレス同好会にも憧れましたが、スポーツは中・高・大学とテニスをやってきました。「身長を生かしきれないテニスプレーヤー」でした。

岩手県の印象は広大で緑豊か、観光名所や歴史史跡が大変多く、今までに龍泉洞、中尊寺金色堂、南花巻温泉郷などなど行きました。読み方が難しい地名が多いですね。車では道を譲ってくれる優しい人が多く、また道端にはゴミがあまり落ちていない、わが生まれの大阪とは随分違うと上品な町だと思えます。愛読書は和夫つながりで稲盛和夫先生の「生き方」、特に人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力 熱意・能力の差より、プラスにもマイナスにもなる考え方の差が大きい。好きな言葉は「凡事徹底」そして、売り手良し・買い手良し・世間良し『三方良し』。こんな私ですが、本日はよろしくをお願いします。

現在私は日本生命に勤務しております。早いもので28年目になります。

弊社は明治22年7月4日に日本で3番目の保険会社として誕生し、創業129年目を迎えております。毎日何気なくつけている、このニッセイマークにも込められた思いがあります。

Nを形どっている2つの三角形はひとつが家族(父・母・子)、もう一つは生命(体・精神・魂)を表しているそうです。マークに使われています色、センチュリーレッドは先進性や提案する企業としての積極的なイメージを表現しているそうです。アルファベットの表記は「ニッセイ」の呼称

が持つ音を大切に、「発信・提案していこう（SAY）」といたく企業姿勢を込めたものです。私も今回改めて再確認できました。

創業の精神は「共存共栄・相互扶助」また創業当時から契約者様への配当というのに拘ってきております。また弊社は東京2020オリンピックパラリンピックのゴールドパートナーとしてこの壮大な国家事業をお手伝いさせていただきます。都市対抗では1回戦で負けてしまいましたが、野球部とそして女子卓球部を持ち、スポーツを“する人”“応援する人”“支える人”を応援しております。

また清掃や植樹・育樹、スポーツボランティアや小中学校などへの出前授業などもやっております。明日もニッセイ大船渡の森で育樹をやっております。ニッセイの森はこの他に岩手県には遠野・紫波など3か所、合計4か所あります。私が所属しています盛岡支社は、皆様のところへお邪魔している営業職員が約400名、14営業部、1開拓支所、1ライフプラザ、1直轄オフィス、ここに33年連続全国No.1の菊池春さんというすごい職員さんがおります。このメンバーと内勤約100名で管内、10万件・6万6千名のお客様をフォローさせて頂いております。

さて本題に入ります。

「もう一度、奉仕」というテーマで日本生命を通じて、何ができるのか、しなければならないのか、考えました。大きくは2つ、1つは「保障責任を全うすること」。いつ何時でもどんなことがあっても、お客様が安心するように保険金をしっかりとお支払いすること、またいろいろな情報・サービスをお伝えすること、今、どんな給付が多く、どんな病気や入院にどれだけの費用がかかるのか、何に注意すればいいのか？

またどんな付加価値サービスがあって、どんな役に立つのかなどをしっかりと伝えていくこと、そしてもう一つは「保険+α」の地域に貢献する、社会貢献活動です。

みなさんも生命保険にご加入されているかと思えます。

ご加入されている保険がどんな保険で、どんな時にいくら支払われるか、また契約形態はどうなっているか、受取人はだれか、ご存知でしょうか？案外、加入時にご理解していても、だんだんと記憶があいまいになってくることが多いので、この際に今一度、保険証券などの契約内容のわかるものでご確認いただければ幸いです。ご不明な

点があれば、何でも言ってください。弊社でも毎年最低1回は「ご契約内容確認活動」と言ってお客様に現在の契約内容はどんな内容か、支払い漏れがないかどうか等、確認させて頂いております。

9ページをご欄ください。これは日本生命がH28年度支払った保険金・年金・給付金です。総額は2兆5,136億円、1日当約69億もの金額が支払われたこととなります。一番多いのが、年金としてのお支払で8,363億円、次に死亡・生前給付金で7,806億円です。その内、がん・急性心筋梗塞・脳卒中など3大疾病で457億円で1日約1.2億支払っていることとなります。太枠で囲んだ箇所が盛岡支社管内でのお支払いになります。現在の支払の主流は大きくは2つ、「老後の年金」と「3大疾病の治療に充て、早期の社会復帰に備える生前給付金」です。下段は盛岡支社であった具体的な支払事例です。若い方でも支払われているケースがあります。いつ何時、何が起こるかわからないこと、そう言えると思います。

ここ最近の支払を見て、やはり今、一番お客様にお伝えしなければならないことは「3大疾病への備えが大切」ということです。治療費がどれくらいかかるのか？また生活費への備えはどうすればいいのか？

がん・急性心筋梗塞・脳卒中など3大疾病で亡くなる方は右肩上がりが増え続けています。がんの罹患者も同様です。国でも「がん対策基本法」が制定され、予算面でもH5年20億の予算からH24年度の360億円と拡大し、がんへの取組みを強化していますが、国が全てを賄ってくれるわけではなく、自助努力が大変必要となってきます。

このがんという病気は以前、遺伝が原因だと言われていたこともありますが、実は遺伝はたった数%程度、ほとんどが生活習慣として、実際には男性では3人に2人が、女性では2人に1人が発症してしまいます。

1年間に何人くらいの方が、がんに関与されるとお思いますか？実は100万人の方が罹患されます。

そして約37万人の方が残念ながらがんで亡くられます。人口10万人当たりの死亡数はアメリカの約2倍近くにもなります。

どうしてがんになってしまうのでしょうか？

人は約60兆個の細胞からなっていて、毎日約8,000億個の細胞が生まれ変わると言われています。

生まれ変わる際の「コピーミス」が実はがん細胞

胞です。年齢を重ねるほど、そのコピーミスも確率が増え、それゆえにがんに罹患する割合は年齢を重ねるごとに増えてしまうということになります。

このがん細胞は毎日5,000個生まれ、ナチュラルキラー細胞などの免疫が退治し損ねた細胞ががん細胞となり、数年かけて増殖し、「がん」になります。そして体中に「転移」してしまうことが一番厄介なことです。

まずはがんにならないように気をつけること、日常生活で気をつけてほしいことは、バランスのとれた栄養、食生活、食べ過ぎ飲み過ぎには注意、喫煙（岩手県は22.6%で全国3位）、適度な運動と体を清潔に保つこと、そして何より人間ドックはじめがん検診をしっかりと受診して欲しいことです。残念ながら岩手県の検診受診率はまだまだ高くありません。この9月はがん征圧月間です。

「継続が予防につながるがん検診」何より早期発見ががん完治の最短の近道です。

万が一、がん罹患しても、最近の医療の進歩には目覚ましいものがあり、言葉が悪いですが、逆に死ななくなりました。多くのがんの完治の目安は「治療後5年間再発しないこと」とされています。

16ページをご覧ください。がんと診断され、5年後に生存している方のその後の5年生存率です。

胃がんで96.8%、肺がんで79.4%、膵臓がんで78.8%などなど、どの部位をみても診断時よりも生存率が非常に高まっていることが分かります。それだけ、がん罹患後の5年間の治療が非常に重要ということになります。最近の新聞記事でも17ページのような記事がありました。早期発見と5年間の治療がとても大事です。18ページは肺腺がんに対する抗がん剤「イレッサ」を服用されて治った方のレントゲン図です。

5年間で1,700万円ものお金がかかります。医療技術の大変な進歩でがんは治る時代に近づいていますが、ただで治るわけではありません。時間とお金が随分かかってしまうことになります。

がん罹患されると、一番必要なもの、がん患者さんに聞くと、それは「お金」と「情報」と言われます。お金がなく、治療を打ち切ってしまう、そういうお客様も数多く見してきました。また情報に乏しく、セカンドオピニオンの情報もなく、がんの部位を切らなくてもいいのに切られた患者さまもいました。「お金」と「情報」は必要です。

ではどのくらいお金があれば、よいのでしょうか？

19ページにある1例をご参考までお寄せあります。がん罹患された場合、安心な金額の目安は最低でも1年目には500万円、2年目から5年目には100万程度とされています。私も仕事上、がん罹患された後に見事に克服、社会復帰された方と数多くお会いしてきました。その方々が異口同音におっしゃっていただいた言葉を胸に刻んで、「使命」として日々の営業活動をしています（それが20ページの言葉です）。

保険に加入いただいたお客様に何も無いのがもちろん一番いいのですが、何かあった時にお役に立てる、それが生命保険だと思います。ですから、加入するかしないかは別として、我々が持っている情報をすべてのお客様にもれなくお伝えしていきたいと考えています。

岩手県には実はもう一つ怖い病気があります。脳卒中や心筋梗塞です。

お手元にあるピラをご覧ください。

岩手県は脳血管疾患で死亡率も男性で3位、女性でなんと1位、心疾患でも男性2位、女性10位とトップクラスであります。裏面をご覧ください。医療技術の進歩で、脳血管疾患の手術件数が増加しており、また脳卒中は男性約70日、女性約110日と入院が長期化してしまいます。

みなさん、ご存じだったでしょうか？

脳卒中に1ヶ月以上ご入院した方に備えておけば充分だと思える金額を伺うと、約850万円、急性心筋梗塞で1ヶ月以上ご入院した方に備えておけば充分だと思える金額を伺うと、約533万円というデータがあります。

生命保険でこれを準備頂くと、受け取られる3大疾病給付金は非課税でもあります。

先日も「岩手県脳卒中予防県民会議」に参加して参りました。塩分やたばこ、ストレスは危険です。24ページに「脳卒中予防の10ヶ条」を載せています。どうか、日頃から十分にご留意ください。また皆様のご縁のある方にも、ご連携して頂ければ幸いです。

今後の取り組んでいかねばならない、現在直面している課題が25ページです。

若年層の保険離れ、女性の乳がん検診・子宮がん検診をはじめとしたがん検診率の向上、がん教育・脳卒中予防の情報伝達、人生100年時代への対応、高齢者の方への丁寧な対応、年金・医療・介護の社会保障制度の補完的役割をどう担っていくか？法人様で言うと、事業承継問題への対応、子育て支援などなどです。

特に若年層の保険離れにつきましては、きっかけ、日常的接点が格段に減少していることが原因の一つと考えています。我々が新入社員のころは「保険に入ることが社会人の証」みたいなところがありました。時代も変わってきてはいるのですが、若年層でも3大疾病と老後への備えは必要です。特に老後の年金が足りなくなっているのは間違いのないことです。精一杯若い方々にお伝えしていこうと思っておりますが、皆様の部下の方々がそういうことにならないように、皆さんからお口添えいただければ幸いです。

年金に加入しても生命保険料控除というもので、支払った生命保険料の額に応じて所得税・住民税の所得金額から控除を受けられる制度があります。一時、国はこの制度を廃止しようとしたのですが、現在では逆に、H24年からこの制度を拡充し、「一般生命保険料控除」「個人年金保険料控除」そして「介護医療保険料控除」の3つがあり、所得税の場合、制度全体の限度額が最大10万円から12万円に拡充されています。

それだけ国の社会保障制度だけでは十分でなく、自助努力が必要となっているということです。「税制面でも優遇されながら、老後の、万一の蓄えをしていく」ことは必要です。

最後に法人様への悩みにもお役に立てる場面がいくつかあります。

自社株評価減、相続・贈与税の削減、決算対応などなどです。H27年の相続税増税で、岩手県でも、課税対象になった被相続人数が313人から598人とほぼ、倍増になっています。相続・贈与対策を計画的に実行することも大切です。決算対策でも損金で現金（含み益）を準備できる方策として生命保険をよくご利用いただいております。いただいたご縁でありますので、何かありましたら、何なりとお申し付けいただければと思います。

伝えきれないこともまだまだありますが、このご縁に感謝し、大切に、皆さんの何か、お役に立つことができることが出来ればと思います。

本日はご清聴、誠にありがとうございました。

例会報告

第7回例会
平成29年9月1日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 飯塚 肇会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・ビジター 中村翠嵐さん（京都東

山 RC)

- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・皆出席バッチ 坂本広行君（3年）。
- ・入会祝 米内 正・大平騰一・田口信之君。
- ・誕生祝 斎藤和好・福田莊介・三田光男・駒木 進・海野 尚・豊岡正幸・齋藤 聡・作田 尋君。
- ・結婚祝 田口信之・豊岡正幸・

齋藤 聡・西島光茂・藤村文昭・砂子田智君。

- ・幹事報告 星 克彦幹事
- 終了後定例理事会開催

【ニコニコBOX】

◆中村翠嵐様（ビジター京都東山 RC）…お世話になります。

出席報告

会員数/74名

出席数/54名

出席率/76.34%

前々回/休会

プログラムのお知らせ

- ・9月 7日(木) 会員卓話（夜例会）諏訪泰幸会員
- 15日(金) 特別休会
- 22日(金) 新入会員卓話 土屋克之会員
- 29日(金) 新入会員卓話 丸山 大会員
- ・10月 6日(金) 会員卓話
- 13日(金) 会員卓話



●本号編集担当/金子 眞也